



宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Vol.38

東京インターナショナル・ギフトショーに出展!



9月5日(水)から7日(金)にかけて、東京ビッグサイトで開催された「第74回東京インターナショナル・ギフトショー2012」に宮崎県ブースを出展しました。

主催者によると、ギフトショー2,485社(海外2,1カ国含む)の出展企業があり、来場者は190,038人(速報値)と国内最大規模の見本市らしく、会期を通して大勢の方々で会場が賑わっていました。

本県からは、宮崎・西スタジオ・林林・アトリエお多福・井上家具制作室の5社が出展し、流通企業等への自社商品のPRや商談を行うことが出来ました。

今回は広い会場の中、2小間の出展であったことから、特に出展

企業の皆様には絞り込んだ商品でアピールすることを願ひ、商談約に結びつけた商品を展示していただきました。出展企業におかれては、パンフレット・チラシを有効に活用しながら、声かけや名刺交換等を行って売り込んでいました。

一品、一件でも多くの商談成約が達成されるよう、当センターもフォローをしてまいりたいと考えております。

(営業課 奥果)



TOPICS

「東日本大震災復興支援フェア」、 「九州北部豪雨・熊本支援フェア」



平成23年3月11日の東日本大震災から1年半となるこの時期に、東北3県の復興を目的として「東日本大震災復興支援フェア」を8月23日より開催いたしました。宮城県・岩手県・福島県のアンテナショップに御協力いただき、24品目(笹かま・盛岡冷麺・喜多方ラーメン等)の特産品を販売しました。また、8月30日より「九州北部豪雨・熊本支援フェア」を開催いたしました。先の口蹄疫の際は、熊本の物産館にて本県の特産品販売を行っていただきました。今回は、宮崎からエールを送りたいと考え企画しました。

(営業課 濱田)

みやざき物産館の7~8月の売上情報

みやざき物産館 KONNE の7月・8月の売上は対前年比、食品7.3%・酒類7.8%・工芸品0%という結果となりました。

食品については猛暑も続き飲料関係は健闘しましたが、お中元の売上が伸びず、苦戦しました。工芸品に関しては、イベント、特別工芸品展にご参加いただいている商品は売上が良く、お客様からのお問い合わせも多くなっております。

(営業課 濱田)

品目	平成23年度	平成24年度
食品	約45,000,000円	約48,000,000円
酒類	約10,000,000円	約10,500,000円
工芸	約5,000,000円	約5,000,000円

毎度ありがとうございます! センター職員紹介

営業課 藤原 貴子

今年の9月からみやざき物産館 KONNEで勤務をさせていただいております。約3年ほど前に東京から宮崎に参りました。

宮崎の事はまだまだ知らない事の方が多くありますが、わからない側の目線でも業務の事を考えていけたらと思っています。業務は主にオンラインを担当いたしますが、店舗の手伝いをする時もちろん、お客様の事、一緒に働くスタッフの事を考えて、丁寧かつ迅速に対応できるように心がけてまいります。

(上司からのコメント)
藤原さんは、周囲の事を確認しながら積極的に仕事に動いています。事務所内での仕事が主となりますが、店舗でも商品の事や販売に係る事など頑張っています。みやざき物産館の一員としてよろしくお願いいたします。

(営業課 牧野)

新設みやざき館 KONNE 後藤 宏明

私はセンター東京支部の営業課に勤務しております後藤と申します。主に関東近郊での催事を担当しております。

最近では、アンテナショップとして百貨店等での出店機会が増え年間を通して、宮崎県産品のアピールを行っております。

また、物産館等では、会員の皆様から情報・ご意見等頂き日々勉強させていただいております。まだまだ至らないところばかりですので、今後もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

(上司からのコメント)
フットワークが良いことから、流通のバイヤーや売り場担当者の評判がよく、業績も順調に伸びています。これからも会員企業のお役に立つよう、活躍を期待しています。

(新設みやざき館 KONNE 高林)

会員の皆様からのコラム・ご意見等を募集しています!

発行 社団法人 宮崎県物産貿易振興センター
〒880-0804 宮崎市宮田町1番6号 県庁8号館
TEL: 0985-22-7389 FAX: 0985-22-7497
URL: http://www.m-tokusan.or.jp/
E-Mail: info-00@m-tokusan.or.jp

食品表示及び品質管理研修会

8月3日(金) ニューウェルシテイ宮崎にて「食品表示及び品質管理研修会」を行い、522社/5名の参加をいただきました。

第一部ではコープ九州事業連合の井ノ上誠氏より「アレルギー表示」の重要性、アレルギー表示の誤りによる事故と生協の品質表示システム、同 高橋憲治氏より「安全のための食品表示」について、安全のための食品表示について法改正が種々行われております。今後、食品関連企業の皆様のお役に立てるよう「食品研修会」を開催してまいります。

第二部では経済消費研究所の福地祐治氏より「食品表示適正化」についての演題で、一括表示の記載方法を中心に、講演をいただきました。

どちらの講演もご参加いただいた企業にとって大変参考になる内容だったと思います。消費者にとっても食の安心・安全は大きな関心事であり、衛生管理や表示について法改正が種々行われております。今後、食品関連企業の皆様のお役に立てるよう「食品研修会」を開催してまいります。

(営業課 西山)



新宿みやざき館 KONNE 通信

暦の上では9月を迎え、宮崎の旬が色濃くなってきましたが、今年の夏も新宿KONNEは元気に営業しました。特に週末催事は好評でした。試食を振舞った新米フェアは宮崎米の良さをPRすることが出来ました。また、8月後半には、申間市、日向市と立て続けにフェアを行いました。申間市はかんしょ、日向市はへすを中心に地元で自慢の食材を展開しましたが、特にへすは今までの地道なPRが功を奏し、最終日には早々に完売してしまうほどの人気を博しました。

また、2階酒類売場では9月早々に姫泉酒造さんによる試飲会を実施し、こちらも予想を上回る実績を上げることが出来ました。試飲会はその商品の効果だけにとどまらず、全体の需要喚起に役立ちます。

会員各社の皆様も、是非新宿みやざき館KONNEをご利用下さい。

これからも、会員企業皆様と一緒に宮崎ブランドの価値を高めていきたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

香港フードエキスポ2012に出展!

去る8月16日(木)~18日(土)に香港で開催された国際食品見本市「香港フード・エキスポ2012」に宮崎県ブースを出展しました。

主催の香港貿易発展局の発表によりますと、今年は、26 国・地域からおおよそ 1,100 社・団体が出展、全体開催の16日~20日間で39万人を越える来場(内バイヤー数 16,627 人)がありました。本見本市は香港バイヤーだけでなく、世界各国のバイヤーと商談機会を得られる場ともなっています。

本県ブースは4回目の出展であり、今回は、椎茸、ブルーベリー・ゆずジュース、調味料、豚肉、漬物、乳製品、焼酎などの食品・飲料メーカー9社が出展しました。

出展者の中には、本見本市をきっかけに香港バイヤーと取引が始まった企業もあります。

また、出展者間で海外バイヤーの情報交換を行ったり、企業間の協力関係を築ききっかけともなった見本市出展となったのではないでしようか。

当センターとしても、出展企業のアフターフォローに努めていきます。

(企画課 柏木)

インターシップを終えて ~この夏(9/3~7)、センターで就業体験された皆さんです~

宮崎公立大学 古賀 大貴さん

本当に充実した5日間だった。みやざき物産館は、お土産を販売するという印象が強かったが、その裏ではセンターの方一人一人の熱意、海外における不屈の活躍が存在するということが学んだ。また、普段は決して体験することができない業務を体験することができ、大変貴重であった。多くのことを学び、自分自身大きく成長した5日間であったと思う。

宮崎公立大学 三宅 考佑さん

私はこの夏のインターンシップで何事にも想像力が大切だと感じた。総務課では、各人がそれぞれの仕事をしていたが、総務課全体でも仕事をしている中で、他人がスムーズに次の作業を行えるよう想像して作業すると自ずと仕事もスムーズに進む。また、相手にも好印象を与えることができる。KONNEではお客様が相手なので、より一層想像力を働かせることが求められる。お客様のことを考えて想像することで、お客様に気持ちよく買ってもらう。また来ていただけるような信頼感が生まれると思う。つまり、想像力は一見賢いのではないようなものにも繋がっていき、想像力も大切だと感じた。想像力をこれからは持ち続け、活かしていこうと思う。

宮崎公立大学 多田 浩樹さん

宮崎物産貿易振興センターの実習を通して、お土産や物産館などのPRには様々な人の思いが込められていることに気づきました。製品を作る企業の人、職人さん、物産館を開発する企業、それをサポートする人たち、そしてお客様。ただ淡々と仕事をこなすのではなく、これらの思いを大切にしながら働くことには大きく違うと感じました。この気づきはこれから就職活動でも大切なことだと感じるので、しっかりと心に書き留めて、これからの道を選びたいです。

宮崎公立大学 三阪 真希さん

インターンシップでは、まずセンターの皆さんの雰囲気の良いところを感じました。一緒に働く中で、コミュニケーションを大切にしていることがわかり、自分もこのように業務に臨みたいと思いました。また、想像以上に幅広い業務があり、個人的には、新規品開発支援業務に興味を持ちました。私の住む宮崎県の業種は活かし、発信するために何度も話し合いを重ねたという、消費者には見えない開発の大変さを知りました。インターンシップで学んだことをこれからの学生生活や、就職した際に活かせるよう努めていきたいと思っています。

県産品共同PRの実施

今年8月からセンターでは県民に対し県産品の魅力をPRするため、県内企業と連携してラジオ番組での県産品の宣伝を行っています。

毎週水曜日MRTのラジオ番組「パレット」の中の9時45分から9時50分の約5分間のコーナーで、番組パーソナリティと企業さんとの掛け合いトークを行い、企業や商品の魅力をPRしています。

また、コーナーの最後には、みやざき物産館KONNEで行っているイベント等の告知もしていますので、ぜひお聞きください。

(企画課 松吉)

古事記編さん 1300年 記念バッジの販売

宮崎県は日本発祥にまつわる日向神話の舞台であり、多くの伝説や伝統文化、史跡などが残されています。今年古事記編さん1300年にあたることから、県を挙げてこれら宮崎の宝を再認識するとともに、県民の力を結集し、その磨き上げや情報発信を行うおつもりです。

センターでは、この記念バッジと同じ古事記編さん1300年記念バッジの販売をみやざき物産館KONNEで行っております。皆さんも「神話のふるさと宮崎」PRのためぜひ活用ください。

(企画課 松吉)